

令和4年 第11回 定例教育委員会 会議録

日 時	令和4年11月25日(金) 13時00分～13時50分
場 所	阪南市役所第2会議室
出席者	<p>〈教育委員会〉</p> <p>教 育 長 橋 本 眞 一 教育長職務代理者 八 田 三 紀 委 員 辻 雅 之 委 員 水 島 浩 子</p> <p>〈事務局(生涯学習部)職員〉</p> <p>部 長 伊 瀬 徹 生涯学習部副理事 丹 野 恒 副理事兼教育総務課長 中 川 准 樹 副理事兼生涯学習推進室長 矢 島 建 副理事兼図書館長 加 藤 靖 子 学校教育課長 石 原 慎 中央公民館長 伊 藤 典 明 教育総務課参事 吉 見 勝 吾 生涯学習推進室参事 中 出 篤</p>
事務局	教育総務課総括主査 中 山 直 子
書記	教育総務課総括主査 中 山 直 子
傍聴者	なし

会議の要旨

(教育長)

令和4年第11回定例教育委員会を開会する。

本会議は、出席委員が定足数に達しており、有効に成立している。

署名委員に辻委員を指名する。

◆承認事項第1号「令和4年第10回定例教育委員会会議録について」(教育総務課)

(教育長)

承認事項第1号「令和4年第10回定例教育委員会会議録について」であるが、本会議録は、教育委員会会議規則第5条第2項の規定に基づき、委員会の承認が必要である。

意見、質問等はないか。

(全委員)

意見、質問等なし。

(教育長)

承認事項第1号について、案のとおり承認されたものとする。

◆報告事項第1号「後援名義使用許可について」(教育総務課)

(教育長)

報告事項第1号「後援名義使用許可について」教育総務課の報告を求める。

(教育総務課参事)

令和4年10月3日から10月31日までの間に教育委員会が後援し、名義の使用を許可した3件について、報告する。

1件目は、音楽玉手箱マトリョーシカ主催「0才から親子で楽しめるクラリネット&ピアノで秋いっぱいコンサート!!」である。令和4年11月6日、阪南市立地域交流館体育施設において0才から小学生の子どもがいる家族を対象に、絵本の読み聞かせも取り入れたクラリネットとピアノのコンサートが開催された。

2件目は、泉南地区柔道連盟主催「第37回泉州地区柔道大会」である。令和5年1月22日、泉佐野市民総合体育館において小学生以上を対象に、泉州各地の大会の優秀選手や中高生による柔道大会が開催される。

3件目は、阪南市合同吟詠会主催「第36回阪南市合同吟詠大会」である。令和5年2月11日、阪南市立文化センター・小ホールにおいて、市民や市内で活動する人を対象に、詩吟や詩舞、尺八演奏を披露する会が開催される。

これらの事業は、阪南市教育委員会の後援等に関する規則第2条各号のいずれにも該当するとは認められないことから、名義の使用を許可したものである。

(教育長)

ただいまの説明を受けて、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

◆報告事項第2号「阪南市教育委員会点検・評価報告書について」(教育総務課)

(教育長)

報告事項第2号「阪南市教育委員会点検・評価報告書について」教育総務課の報告を求める。

(教育総務課長)

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成したので、報告する。

資料に基づき、説明する。

(教育長)

教育委員会の職員にとっては、前年度の事業を振り返る機会となるものである。今回、新たに点検・評価対象事業として取りあげたものはあるか。

(教育総務課長)

再編したものも含めると、「2-2 2 学校給食センター改修事業」、「2-2 3 阪南市立学校のあり方検討事業」、「3-1 4 中央公民館管理運営事業」、「3-1 5 地区公民館管理運営事業」、「3-1 8 国産材でつくる本のある居場所事業」、「3-1 9 森林インストラクターによる講座業務委託事業」である。

(教育長)

毎年度、点検・評価されるべきと考える事業が更新されている。事業名も実態に合わせて変更する必要があるが、「2-1 2 適応指導教室実施事業」は、来年度点検・評価する際はどのような事業名とするのか。

(学校教育課長)

本事業については、令和4年5月に場所を移転し、同時に事業内容の充実を図ったため、令和5年度報告書では「教育支援センター実施事業」とする予定である。

(教育長)

3名の委員の皆様は大変熱心に取り組んでくださっている。点検・評価報告書の「外部評価」欄に記載されているご意見もさることながら、2回開催した評価委員会でいただいたご指摘やご意見も貴重なものであり、今回からはその場でのやり取りをとりまとめ、報告書に添付している。理事者側はそれらのご意見を踏まえ、今後を見据えた事業展開をしていくよう、よろしく願います。

(辻委員)

「4-1 文化財保護啓発事業」は、葛城修験が日本遺産として登録されたり、くずし字読み方講座といった興味深い講座が開催されたりなど、活発になってきた印象がある。今年度は文化財デジタルアーカイブ事業に取り組んでいるとのことだが、

進捗状況はどうなっているか。

(生涯学習推進室長)

10月中旬から下旬にかけて、歴史資料展示室を作業スペースとして、市指定の各種文化財の撮影を行い、月末には成子家住宅や酒蔵等の3D撮影を実施して、撮影作業は完了した。12月中にデジタルアーカイブのシステムを構築し、1月以降、一部のコンテンツの試運転を開始する予定である。

(教育長)

文化財デジタルアーカイブが完成したら、タブレット端末を使えば活用できる学習教材であることを、学校現場にしっかり周知されたい。

(水島委員)

タブレット端末に関して、先日、他県の中学校で、職員室で保管した生徒用のタブレット端末の録音アプリが起動しており、生徒に関する教員同士の会話が録音されてしまい、その音声が拡散された結果、生徒が登校できなくなったという件が報道された。タブレット端末は便利な面もあるが、データが安易に広がってしまうという怖さもある。管理には十分注意していただきたい。

(学校教育課長)

授業での使用後は教室にあるキャビネットへ収納することや、持ち帰りの際に留意するべきことを、再度徹底するよう、各校に伝える。

(水島委員)

配慮を必要とする子どもが公立保育所から小学校に進学する際には、その子どもに関する情報が保健師と共有されると聞かすが、私立園の子どもはどうなるのか。

(学校教育課長)

「2-9教育支援事業」がそれにあたるが、支援が必要な子どもの小学校進学にあたっては、公立私立や施設の種別を問わず、教育委員会事務局から子どもの様子を見に行ったり、各園所から子どもの情報を引き継いだりして、教育支援委員会で子どもにとって最適な教育支援の方策を検討し、保護者の理解を得たうえで就学先を決定することとしている。

(教育長)

他に、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

◆報告事項第3号「第3回阪南市立学校のあり方検討委員会について」(教育総務課)

(教育長)

報告事項第3号「第3回阪南市立学校のあり方検討委員会について」教育総務課の報告を求める。

(教育総務課長)

令和4年10月17日に開催した第3回阪南市立学校のあり方検討委員会について

て報告する。

今回は、市民公募委員や各公共団体の代表の委員から事前に、審議資料や第2回での議論を踏まえた意見をアンケートにより集約したうえで、前回に引き続きソフト面について、小中一貫教育の項目から順次議論していただいた。

詳細は資料のとおりである。なお、第4回のあり方検討委員会は令和5年1月の開催を予定している。

(教育長)

ただいまの説明を受けて、質問等はないか。

(教育長職務代理者)

項目の一つ、「新しい時代に求められる教育」として、「阪南GIGAスクールビジョン」が挙げられている。先日、薬剤師会として、各小中学校のタブレット端末使用中の教室の照度を測定しに行った。学校に行く際、小学校は多くの授業でタブレット端末を使用しているため、いつでも行くことができたが、中学校ではほとんど使っておらず、測定できる授業が限定されているため、タイミングを合わせるのに苦労した。聞けば、授業での使用は月2回程度とのことである。小中学校で差異が生じる理由があるのか。また、この状況を教育委員会事務局は知っているのか。

(学校教育課長)

タブレット端末導入当時の、一部の端末の動きが止まってしまい、全員そろっての動作がかなわない、というハード面での問題は大方解消されたが、その後なかなか利用できていないようである。各中学校に、教科を超えた好事例を紹介して端末の活用を推進していきたい。

(教育長)

小中学校の活用の段差をご指摘いただいた。コロナ禍でなかなか学校現場へ行くことができなかったのだが、先般ある小学校に環境教育の授業を見に行くと、5年生の児童がタブレット端末をずいぶん使いこなしていた。ハード面でも問題がないようだった。

タブレット端末の活用は、授業改善と密接な関係がある。小学校は担任制で、ほぼ全ての授業を担当が行うので、積極的に授業を改善しようとする強い力がある。一方、教科制である中学校は教科間の壁があり、授業の工夫や改善が共有されにくい環境である。だが、このままではせっかく子どもたちが小学校で培ってきたスキルを、中学校で教員が活かすことができないという事態になってしまう。そのようなことにならないよう、中学校の教員が活用できていない理由を分析する必要がある。

第3回阪南市立学校のあり方検討委員会では委員から事前にアンケートをすることで、限られた時間の中で効率的な議論ができたことを評価する。ソフト面での検討は順調に進んでいる。事務局は頂いたご意見をまとめ、答申に向けて取り組またい。

他に、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

**◆報告事項第4号「令和4年度第1回阪南市スポーツ推進審議会会議録について」
(生涯学習推進室)**

(教育長)

報告事項第4号「令和4年度第1回阪南市スポーツ推進審議会会議録について」生涯学習推進室の報告を求める。

(生涯学習推進室長)

令和4年9月29日に開催した、令和4年度第1回阪南市スポーツ推進審議会について報告する。案件は、(1) 会長・副会長選出について、(2) 公共施設使用料減免ガイドラインについて、(3) その他、であった。

詳細は資料のとおりである。

(教育長)

審議会では委員から中学校の運動部活動の地域移行についての質問が出されており、関心を持ってくださっているのが会議録からもうかがえる。その他にも、生徒が土・日の活動を本当に望んでいるのか等調査することや、スポーツ団体・学校関係者・行政機関による大掛かりな全体会議を開催することなど、ご指摘いただいた。

部活動の地域移行は、現在大きな課題となっているが、スポーツ推進審議会委員の意見も踏まえて進めていかなければならない。

令和5年度に向けて、何か新たな動きはあるか。

(学校教育課長)

部活動の地域移行については、文化庁とスポーツ庁から提言が示され、大阪府において必要となる予算要求が行われているところである。本市においても、補助金を含めた府の動向を見極め、本市に適した地域移行を検討する協議会を設置することなども含め、様々な意見を伺いながら、地域移行の準備を進めていきたいと考えている。

(教育長)

学校の考えをしっかりとくみあげること、協議会等で広く意見を聴くことが重要となる。以後よろしく願います。

(辻委員)

報告事項第3号でも触れられていた教育の情報化や部活動の地域移行は、文部科学省主催の教育委員の研修会などのテーマにも必ず取りあげられるほど、全国的にも関心の高い課題である。そのため、このように定例教育委員会での報告事項の中で本市の現状と課題を知ることができるのはありがたい。引き続き推進していかねばならないことなので、進捗状況等について随時本会議で報告していただきたい。

(教育長)

各審議会や協議会等の会議録が、教育委員の皆様へ報告する媒体となる。

他に、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

**◆報告事項第5号「令和4年度第1回阪南市立公民館運営審議会会議録について」
(中央公民館)**

(教育長)

報告事項第5号「令和4年度第1回阪南市立公民館運営審議会会議録について」中央公民館の報告を求める。

(中央公民館長)

令和4年7月28日に開催した、令和4年度第1回阪南市立公民館運営審議会について報告する。案件は、(1)委員の委嘱について、(2)委員長・副委員長選出について、(3)令和3年度事業報告と令和4年度主要事業予定、当初予算について、(4)阪南市行財政構造改革プラン改訂版について、であった。

詳細は資料のとおりである。

(教育長)

会議録によると、ある委員から、令和3年度から中央公民館体制となったことで、どのような効果があったのかがわかりにくいと指摘されているが、この点についてはどのようにしていく予定か。

(中央公民館長)

先般開催した第2回阪南市立公民館運営審議会において、その他案件として、令和3年度の実績に対する自己評価をまとめ、各委員に報告したところであるが、さらにわかりやすいものにしていくことが、今後の課題であると考えている。

(教育長)

学校教育分野も生涯学習分野も、事業を評価していくことが重要であり、それがまとめられたのが、報告事項第2号の「阪南市教育委員会の点検・評価報告書」である。理事者はそのことを肝に銘じてほしい。

効果というのは数値で測ることは難しいが、定性的な評価は可能なはずだ。指定管理者制度を活用した中央公民館体制となって、何がどう変わったのか示し、説明して行ってほしい。

他に、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

◆報告事項第6号「令和4年度第2回図書館協議会会議録について」(図書館)

(教育長)

報告事項第6号「令和4年度第2回図書館協議会会議録について」図書館の報告

を求める。

(図書館長)

令和4年10月27日に開催した、令和4年度第2回図書館協議会について報告する。案件は、(1)文化センター及び図書館の指定管理者の決定について、(2)図書館ボランティアの今後について、(3)令和4年度事業について、(4)その他、であった。

詳細は資料のとおりである。

(教育長)

ただいまの説明を受けて、質問等はないか。

(教育長職務代理人)

お互いの率直な意見が交わされた協議会であったことが、会議録からもうかがえる。案件(2)では、ボランティア活動が、職員が忙しくしているところを見かねて支え合うに至ったという自主的なものであったということ、みなさんが楽しんで活動していることがよく分かった。令和5年度の指定管理者制度導入後も、自主的な活動がうまくつながっていくことを願う。また、電子図書館を新たな教育資源として、学校教育も含めて改善されることを期待する、というご意見があった。さらに、児童のタブレット端末に電子図書館をアプリとして入れることを検討するという事務局の発言もあったが、その後進展はあったのか。

(図書館長)

電子図書館を利用するためには児童自身が図書貸出券を持っている必要があるため、すぐにはできないが、電子図書館利用に向けて、図書貸出券を所持していない児童の貸出券を申請してきている小学校もある。少しずつでも着実に進めていきたい。

(教育長職務代理人)

学校教育課はどうお考えか。

(学校教育課長)

教育活動で電子図書館を利用するのは、タブレット端末の活用方法の一つとなるため、市立図書館や学校現場と連携しながら取り組んでいきたいと考える。

(教育長)

文化センター及び図書館の指定管理者が決定したことを報告するという大きな案件を含む会議で、いつもながら各自の思いが込められた、内容の濃い議論であった。これまで図書館協議会でも、そしてパブリックコメントでも、多くのご意見をいただき、議論を重ねたうえで決まった図書館への指定管理者制度導入である。協議会では、選定方法について一定評価していただき、受け入れてくださったように思う。指定管理者となる予定の事業者には是非この会議録を読んでもらい、これまでの経緯やみなさんの考えを知っていただきたい。

(図書館長)

図書館協議会の会議録は図書館のウェブサイト上で公開しており、指定管理者も自由に読むことができる。また、指定管理受託予定の事業者とは、10月から定期

的に打ち合わせを行っているので、会議録にお目通しいただくよう伝えることとする。

(教育長)

他に、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

◆その他案件①「教育委員会関連行事について」(各担当課)

(教育長)

教育委員会に係る行事等について、その内容と主たる担当課を示している。
各課の報告を求める。

<生涯学習推進室>

- 1 1月19日 青少年指導員協議会 子ども・若者育成月間における街頭啓発
- 1 1月26日 まちの歴史発見講座
- 1 1月27日～ はんなん・まち案内ボランティア講座 (全6回)
- 1 2月 9日 青少年指導員協議会 臨時総会
- 1 2月11日 はたちのつどい 第3回運営委員会
- 1 2月14日～ 留守家庭児童会 令和5年度入会申請一斉受付開始
[12月20日まで]
- 1 2月24日 阪南の第九の灯を消さない! 第九合唱を楽しむ会

<公民館>

- 1 1月17日～ [中央公民館] 講座 多世代交流を生み出す
「地域の居場所づくり」をめざして(全3回)
- 1 1月19日・20日
[東鳥取公民館] 東鳥取公民館まつり～すきやねん、このまちが～
- 1 1月30日、12月3日・8日・13日
[中央公民館] マイナンバーカード申請サポート講座 (各公民館)
- 1 2月 9日～ [西鳥取公民館] 講座 彩り豊かな年末年始をすごしませんか
(全3回)
- 1 2月11日 [尾崎公民館] おいしいパンづくり教室

<図書館>

- 1 1月15日 はんなんTV「電子図書館を使ってみよう」
- 1 1月18日 阪南地区図書館担当者連絡会議

※いずれも11月25日現在の実績・予定

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(全員)

質問等なし。

◆その他案件②「和泉学園泉南学寮からの図書紹介ポップについて」(図書館)

(教育長)

続いて、「和泉学園泉南学寮からの図書紹介ポップについて」図書館の報告を求める。

(図書館長)

この度、和泉学園・泉南学寮の園生が作成した図書紹介のポップを図書館に寄贈していただいたことを報告する。資料に写真を掲載している。

和泉学園・泉南学寮は市内貝掛にある少年院で、おおむね12歳から17歳の少年たちが社会復帰に向けて矯正教育を受けており、泉南学寮は、その中の短期矯正施設である。

ポップ寄贈の来館に合わせて3名の園生による図書館見学も実施した。泉南学寮の担当者の話では、園生は図書館に行ったことがない子も多く、社会に戻った時に役に立つ社会資源としての図書館について、知っておいてほしいとのことだった。

なお、和泉学園や泉南学寮とは、大阪府立図書館から和泉学園への団体貸出セットの貸出を阪南市立図書館が中継することでの関わりがあり、過去には和泉学園側から地域貢献の一環として、園生が制作した木製ブックスタンドを寄贈してもらったこともあり、資料下部の写真がそれである。

(教育長)

図書紹介ポップを頂いたのは、今回が初めてか。

(図書館長)

3年ほど前にも頂いたことがあり、今回で2回目となる。

(教育長)

他に、質問等はないか。

(全員)

質問等なし。

◆その他(教育長)

(教育長)

今回の令和4年第12回定例教育委員会は、令和4年12月23日金曜日午後2時00分から阪南市役所第2会議室で開催したいが、いかがか。

(全員)

異議なし。

(教育長)

令和4年第11回定例教育委員会を閉会する。

以上